

出席者の意見	事務局の考え方
<p>全国のニュータウンの規模や位置のわかる地図があるか。年表は作ってもらえるのか。予算はあるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧千里センターの資料室で展示されていた古い資料はあります。また、資金が必要であれば予算化の努力はしますが、行政が用意するという前提ではなく、市民の方々と共に作成してまいりたいと考えています。</li> </ul>
<p>100年後の人たちに向けて情報を発信する視点で資料収集すべき。千里をふるさとと感じてもらえるような活動をしたい。建物の活用についても100年後を見据えて考えたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100年後の人たちに何を伝えていくかという視点は重要であると考えています。</li> </ul>
<p>旧千里センターにあった行政文書について、大阪府公文書館から千里に取り戻すことができるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千里ニュータウン開発のマスタープランのもとになった文書は、大阪府から吹田市・豊中市へ複写データの提供を受けており、記念館での公開を予定しています。また、最低限の資料は揃っていると考えています。</li> <li>公文書館にある文書は、土地の売買や内部決裁文書がほとんどで、より深い研究に必要でしたら公文書館に資料請求していただく必要があります。</li> </ul>
<p>狭いスペースに多量の資料を抱え込む必要はないと思う。旧千里センターに展示されていたパネルは、現物展示ではなくデータ化して別の形で公開してはどうか。</p>	
<p>今ある資料は公的なものが多く、市民の生活の記録を足していかないと限られた研究者のニーズしか満足できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発から約50年経った今、意外に資料が残っておりませんので、資料を持っている人との情報等を共有したいと考えています。</li> </ul>
<p>コミュニティポータルサイトや仮想空間を活用した資料収集をすればよいのではないか。</p>	
<p>例えば千里ニュータウン出身者の同窓会を記念館がセッティングすることで、人と資料が集まってくるのではないか。</p>	
<p>開発当時の公社住宅などの一部を保存するなど、団地の住居空間を再現展示できないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>模型を作成するとか、取り壊し予定の建物を現物保存して活用するとかいろいろな方法を検討しています。</li> </ul>
<p>自治会活動の歴史を展示したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会活動に限らず、一つのテーマを決めて展示することについて、運営団体の中で賛同が得られれば実現できると考えています。まちづくりの活動を次世代に受け継ぐ研究の一つとして捉えることができると考えます。</li> </ul>
<p>博物館や地元の小中学校との連携は必要だ。地域の学校には意外と資料が集まっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館や図書館との連携も想定して進めております。</li> <li>学校との連携については、PTAとの連携も含めて検討してまいります。</li> </ul>
<p>千里ニュータウンに関連のある、例えば作品の舞台やロケ地として使用した文学作品や映画などの作品リストを作り、公開可能であれば公開したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品リストの作成は問題ないですが、公開する場合は著作権、放映権などの問題があり、不特定多数の方々が同時にご覧になれるようにするには費用面など多くの課題があります。また、研究目的で限られた人がご覧になる場合、事前届出でクリアできるかもしれないと考えています。</li> </ul>
<p>まちを楽しむフィールドミュージアムとして、まちの魅力を伝えるものを紹介したい。児童公園の名前も多様でおもしろい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千里ニュータウンのビジターセンター的な機能も持たせたいと考えています。</li> </ul>
<p>橋や道路、フットパスなど千里ニュータウン全体で、それぞれによく考えて設計されている。千里ニュータウンを全体として文化財ととらえ、技術の変遷、まちの変遷を含めて伝えていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千里ニュータウンを設計した方々の声を集めることも面白いと考えています。</li> </ul>
<p>万博公園の日本庭園ではNHKに取り上げられてから市民の関心が高まりボランティア活動が充実するようになった。記念館もメディアで発信すればうまくいくのではないか。行政が作った施設をみんなで盛り上げていけばよい。</p>	
<p>ホームページやコミュニティポータルサイトも大事だが、ここに来れば情報がわかり人となつがる場にしたい。千里ニュータウンに住みたい人を外から呼び込めるような情報発信もするべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページについてはPFI事業者が作成します。</li> </ul>
<p>子どもだけでなく千里ニュータウンにかつて住んでいた大人も含めて、記憶を呼び起こして、まちを楽しむツアーも考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術的なまち歩き、意外なスポットを探すまち歩きなど、いろいろなツアーが組めると考えています。</li> </ul>
<p>浜屋敷のようにまち歩きスタッフを育成して、市民ボランティアがツアーガイドできるとよい。育成のための研究者も必要で育成研修により知識が引き継げると思う。</p>	
<p>FM千里のサテライトスタジオを記念館内に開設し、情報発信できないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常設となれば無理ですが、臨時に中継することは可能であると考えます。</li> </ul>
<p>小中学校と連携して子どもたちにニュータウンの昔話をするとか、人から人へ伝えていく場にしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館では「むかしのくらしと学校」というテーマで小学校と連携し、課外授業をしています。事業開始当初は学校側の理解がなかなか得られなかったようですが、粘り強く働きかけて多くの学校に協力していただきましたので、記念館の活動も粘り強く進めてまいりたいと考えています。</li> </ul>
<p>運営協力団体はいつ作るのか。同じテーマで活動していても市民団体間で仲の悪いところもある。この機会にまとめた。火付け役は行政にしてもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営協力団体の設立時期は未定です。既存団体をまとめるという役割は持っていません。記念館は千里ニュータウンをテーマに、いろんな団体や個人が交流する場です。</li> </ul>
<p>南千里駅前公共公益施設全体がうまくいくか心配している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この建物は例えて言えばテナントビルのようなもので、駅前に必要な機能について検討した「まちづくり懇談会」の結果を受けて整備しています。館全体に統一テーマはなく、一体運用という形態ではありません。</li> </ul>
<p>駅前広場でラストサマーフェスティバルは開催可能か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラストサマーフェスティバルはもともと駅前駐車場で開催していましたが、ガーデンモールを作るときにスペースがなくなり千里南公園に移った経過があります。駅前広場を設けて祭を実施したいという声は、市民や商店会から出ています。計画では南センタービルと千里市民センタービルの解体後、駅に近い敷地で公共広場を整備する予定です。</li> </ul>